

令和7年度 事業計画



千葉科学大学附属高等学校

千葉科学大学附属高等学校は、入学動機や進路希望、生活・学習経験など様々な背景を持つ生徒一人一人に、心身の発達や進路に応じて自立した社会人として、変化の激しい社会を生き抜くために必要な生きる力を身に付けさせ、社会に貢献できる人材を輩出します。



私たちの暮らす社会は、スマートフォンの普及からビッグデータ、人工知能の活用など技術革新も加速し、更にはグローバル化も進み、目まぐるしく変化しています。少子化に歯止めがかからず、総人口の減少期を迎えた日本社会において、国を支える労働人口の減少は喫緊の課題であり、その対応は一刻の猶予も許されない状況です。こうした社会情勢に鑑み、本校では積極的に外国籍の生徒を受け入れ、我が国の伝統や文化、習慣などに慣れ親しんでもらうとともに、生徒一人一人の入学動機や進路希望等に寄り添いながら、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度を育成し、卒業後は千葉科学大学をはじめとした関連大学等に進学することによって、将来的には我が国の労働力を支える人材を育成・輩出することを最大の目的としています。

また、学園の建学の理念の下、学びの多様性が叫ばれる昨今、地域の「学びのセーフティネット」としての役割も本校が果たすべき責務であるとの認識に立ち、通信制課程の強みを活かして生徒一人一人の能力を最大限に引き出せるようなカリキュラムを提供しつつ、進路の実現に向けて有意義な高校生活を送ることができる環境を提供してまいります。

これらの教育活動を実践するにあたり、以下に示す教育の推進のためのグラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー、及びガバナンス体制と人材育成を柱とした目標を設定し、各政策における中期計画並びに具体的事業計画を策定しました。

○ グラデュエーション・ポリシー

個々の能力・適性・興味・関心に応じた将来の進路を決定させ、その実現に向けて一般的教養を高め、専門的な知識や技術・技能を習得させる。また、外国籍の生徒には、十分な日本語能力を修得させる。

○ カリキュラム・ポリシー

生徒一人一人の能力に応じたカリキュラムを運用し、高等教育機関等で学ぶに足る学力等の定着を図る。また、千葉科学大学等との高大連携を推進し、進路実現を図らせる。

○ アドミッション・ポリシー

将来的に日本での就労を目指す国内外の外国籍の生徒を受け入れる。また、地域の「学びのセーフティネット」の役割を果たす。

本年は開校4年目を迎え、国内生徒の充実はもとより、主眼としている外国籍の生徒の受け入れ・入学への取り組みについても更なる改善を図り、事業の遂行に努めてまいります。

千葉科学大学附属高等学校 校長 早川 昌二

I. 教育の推進

1. グラデュエーション・ポリシー（GP）に関する目標

生徒の多様な背景を基礎とし、個々の能力・適性・興味・関心に応じた将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させる。また、学校教育活動を通じて、外国籍の生徒には、十分な日本語能力の修得及び日本の文化や伝統、風習に慣れ親しむこと、資質・能力を育むことを目標とする。

中期計画	事業計画	
1. 本校の GP（グラデュエーション・ポリシー）を具現化するための学校自己点検・評価の実施。	【1-1-1】	・本校の GP を具現化するため生徒個々の履修状況、面談記録、既卒後の進路等を元に、生徒の希望に沿った教育が実施できているか、自己点検・評価を行う。
	【1-1-2】	・学習等連携協力施設に在籍している生徒に対し、オンライン等を活用し学習状況を確認するとともに、学習等連携協力施設の協力の下、学習環境アンケートを実施し、施設ごとの評価を行う。

2. カリキュラム・ポリシー（CP）に関する目標

本校の GP（グラデュエーション・ポリシー）を達成するため、生徒一人一人の能力・適正・興味・関心に応じたカリキュラムを運用することを目指す。

中期計画	事業計画	
1. 外国籍の生徒に対するカリキュラムの運用	【2-1-1】	・外国籍生徒の語学能力、基礎学力に応じた段階的な履修科目指導を行う。また、レポート添削に関しても、生徒の語学力に応じた適切な添削指導を行う。
2. 国内の生徒に対するカリキュラムの運用	【2-2-1】	・各期に実施する三者面談をもとに、国内生徒の進路希望に応じた個別の履修科目指導を行う。
3. 千葉科学大学と連携した教育の推進	【2-3-1】	・千葉科学大学や関連大学等への進学を視野に入れ、広報活動や高大連携科目の開設等を含めた高大連携を大学とともに継続して推進する。

3. アドミッション・ポリシー（AP）に関する目標

本校のスクール・ミッションを現実化するために、教育活動に沿って学びうる生徒像を定め、その受け入れを行うことを目標とする。

中期計画	事業計画	
1. 将来的に日本での就労を目指す国内外にいる外国籍の生徒の受け入れの推進	【3-1-1】	・将来的に日本で働くことを希望する生徒を海外から受け入れるため教育提携機関との連携体制を強化する。また、現地機関を訪問する際に直接進学希望者に説明を行う等、海外からの生徒の受け入れを強化する。
	【3-1-2】 （【1-1-2】と同様）	・学習等連携協力施設に在籍している生徒に対し、オンライン等を活用して学習状況を確認するとともに、学習等連携協力施設の協力の下、学習環境アンケートを実施し、施設ごとの評価を行う。
2. 様々な事情により全日制課程に進学することが困難な生徒の受け入れ体制の構築	【3-2-1】	・地域の中学校・高等学校と生徒指導に資する連絡体制を強化し、受け入れ生徒に対する情報共有、支援ができる体制を構築する。

中期計画	事業計画	
3. 学びの場の多様性を背景とした、より自己活動の時間を求める生徒の受け入れ体制の構築	【3-3-1】	・生徒一人一人の興味・関心、将来の進路に応じたカリキュラムを提供し、可能な限り個々の事情に応じた受け入れを行う。

4. ガバナンス体制と人材育成に関する目標

高等学校の質保証に資する自律的なガバナンスの充実・強化、及び将来に向けての人材育成を行う。

中期計画	事業計画	
1. 本校の目的達成のためのガバナンス体制の構築	【4-1-1】	・引き続き、高等学校の運営に必要な規程、細則を整備するとともに、将来を見据えた生徒担任業務、校務分掌分担を整備する。
2. 教職員の資質向上に向けた取組	【4-2-1】	・将来の高等学校運営に係る人材育成に資する研修、海外からの生徒受け入れに向けた研修を実施する。また、管理職による教職員の面談を含む教員の自己点検評価を実施する。

主な行事予定	
4月15日	前期入学式・オリエンテーション
4月16・17日	前期スクーリング開始（7月15・16日まで）
5月20・21日	海外交流会
6月 8日	オープンスクール①
6月20日	第7回日本語スピーチコンテスト黒潮杯
7月 6日	オープンスクール②
7月22・23日	前期単位認定試験
8月 3日	オープンスクール③
8月22～28日	海外集中スクーリング
9月 1～ 5日	国内集中スクーリング
9月 7日	オープンスクール④
9月21日	前期卒業式
10月 3日	オリエンテーション
10月 5日	後期入学式・オリエンテーション
10月 8・ 9日	後期スクーリング開始（1月21・22日まで）
10月19日	入試説明会①
11月 8・ 9日	文化祭
11月16日	入試説明会②
11月24～26日	学修旅行（関西方面）
12月12日	第8回日本語スピーチコンテスト黒潮杯
12月14日	入試説明会③
1月28・29日	後期単位認定試験
2月 9日	球技大会
2月14～20日	海外集中スクーリング
2月25日～ 3月 4日	国内集中スクーリング
3月10日	後期卒業式

学生数・教職員数

■在籍学生数

(令和7年5月1日現在)

課程・学科・コース名	入学者数	収容定員	在学者数
広域通信制課程 普通科	14	400	93

■教職員数

(令和7年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員 計	事務職員
1	1	6	8	2

(単位：人)

財務関係

■施設設備整備計画(抜粋)

千葉科学大学の施設と共用して利用している現存施設に関し、必要に応じて、経年劣化による修繕、部品交換等を行っていく予定です。大型設備の設置予定はありません。